

線形代数 問題集

2024 年 4 月 1 日

1 行列の演算

1.1 次の行列 A に対し, A^n を求めよう. ただし, n は自然数とする.

$$(1) A = \begin{bmatrix} 2 & 1 \\ 0 & 2 \end{bmatrix} \quad (2) A = \begin{bmatrix} 2 & 1 & 0 \\ 0 & 2 & 0 \\ 0 & 0 & 3 \end{bmatrix} \quad (3) A = \begin{bmatrix} 2 & 1 & 0 \\ 0 & 2 & 1 \\ 0 & 0 & 2 \end{bmatrix}$$

1.2 $B = \begin{bmatrix} 2 & 1 \\ 0 & 2 \end{bmatrix}$, $P = \begin{bmatrix} 3 & 4 \\ 2 & 3 \end{bmatrix}$ とする.

(1) $P^{-1}AP = B$ となる行列 A を求めよう.

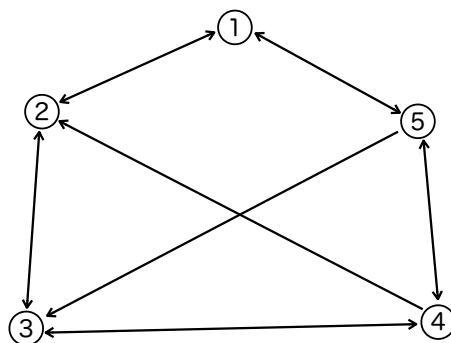
(2) 自然数 n に対し, A^n を求めよう.

1.3 $A = \begin{bmatrix} -2 & 2 \\ 5 & -3 \end{bmatrix}$ とする.

(1) $A^2 + 5A - 4E_2$ を計算しよう.

(2) (1) の結果を活用して A^5 を効率良く計算しよう.

1.4 下図のような 5 個の空港 1, 2, 3, 4, 5 を結ぶ航空路線がある. 空港 i から空港 j への直通路線があるとき $a_{ij} = 1$ とし, そうでないとき $a_{ij} = 0$ とする. ただし, $a_{ii} = 0$ とする.



(1) a_{ij} を (i, j) 成分とする 5 次正方行列 $A = [a_{ij}]$ を具体的に書いてみよう.

(2) A^2, A^3, A^4 を計算しよう.

(3) A^2 の (i, j) 成分は $a_{i1}a_{1j} + a_{i2}a_{2j} + a_{i3}a_{3j} + a_{i4}a_{4j} + a_{i5}a_{5j}$ であることから, この値が何を意味するか考えよう.

(4) 自然数 n に対して A^n の (i, j) 成分が何を意味するか考えよう.

(5) 路線 $4 \rightarrow 2 \rightarrow 1 \rightarrow 5 \rightarrow 3$ のように, 空港 4 から出発して 4 回の移動 (3 回の乗り継ぎ) で空港 3 に到着する路線の個数を求めよう.

2 連立 1 次方程式

2.1 以下を満たす 3 次関数 $f(x) = a_0 + a_1x + a_2x^2 + a_3x^3$ の係数を決定しよう.

$$f(1) = 1, \quad f(2) = 2, \quad f'(1) = 2, \quad f'(2) = 3$$

2.2 行基本変形と基本行列に関する問題を作りたい

$$2.3 \quad \mathbf{a}_1 = \begin{bmatrix} 2 \\ 2 \\ -1 \end{bmatrix}, \quad \mathbf{a}_2 = \begin{bmatrix} 1 \\ 3 \\ -4 \end{bmatrix}, \quad \mathbf{b} = \begin{bmatrix} 5 \\ 2 \\ 5 \end{bmatrix}, \quad A = \begin{bmatrix} \mathbf{a}_1 & \mathbf{a}_2 \end{bmatrix} \text{ とする.}$$

(1) 連立 1 次方程式 $A\mathbf{x} = \mathbf{b}$ を解こう.

(2) 連立 1 次方程式 ${}^tAA\mathbf{x} = {}^tA\mathbf{b}$ を解こう.

(3) (2) で求めた解 \mathbf{x} に対して, 空間ベクトルの内積 $(A\mathbf{x}) \cdot (A\mathbf{x} - \mathbf{b})$ を計算しよう.

(4) 空間ベクトル $A\mathbf{x} - \mathbf{b}$ の大きさの 2 乗 $|A\mathbf{x} - \mathbf{b}|^2$ が最小となる \mathbf{x} を求めよう.

3 行列式

3.1 (1) O を原点とする xy 平面上に 3 点 $A(a, c)$, $B(b, d)$, $C(a+b, c+d)$ があり, \overrightarrow{OA} と \overrightarrow{OB} は平行でないとする. 平行四辺形 $OACB$ と三角形 OAB の面積を求めよう.

(2) 2 次正方行列 $\begin{bmatrix} a & b \\ c & d \end{bmatrix}$ の行列式を計算しよう.

(3) 5 点 $P(4, 4)$, $Q(-2, 6)$, $R(-5, 1)$, $S(-3, -3)$, $T(5, -3)$ を頂点とする五角形 $PQRST$ の面積を求めよう.

3.2 空間ベクトル $\mathbf{a} = {}^t \begin{bmatrix} a_1 & a_2 & a_3 \end{bmatrix}$, $\mathbf{b} = {}^t \begin{bmatrix} b_1 & b_2 & b_3 \end{bmatrix}$ に対して

$$\mathbf{a} \times \mathbf{b} = \begin{vmatrix} a_2 & b_2 \\ a_3 & b_3 \end{vmatrix} \mathbf{e}_1 - \begin{vmatrix} a_1 & b_1 \\ a_3 & b_3 \end{vmatrix} \mathbf{e}_2 + \begin{vmatrix} a_1 & b_1 \\ a_2 & b_2 \end{vmatrix} \mathbf{e}_3 = \begin{vmatrix} a_1 & b_1 & \mathbf{e}_1 \\ a_2 & b_2 & \mathbf{e}_2 \\ a_3 & b_3 & \mathbf{e}_3 \end{vmatrix}$$

を \mathbf{a} と \mathbf{b} の外積という. ($\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_2, \mathbf{e}_3$ を形式的に数のように扱って行列式を計算する)

(1) 内積 $\mathbf{a} \cdot (\mathbf{a} \times \mathbf{b})$ と $\mathbf{b} \cdot (\mathbf{a} \times \mathbf{b})$ を計算しよう.

(2) 空間ベクトル $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ の大きさ $|\mathbf{a} \times \mathbf{b}|$ を求めよう.

(3) 空間ベクトル \mathbf{a} と \mathbf{b} が張る平行四辺形の面積を求めよう.

3.3 ${}^t\mathbf{a} = \begin{bmatrix} a_1 & a_2 & a_3 \end{bmatrix}$, ${}^t\mathbf{b} = \begin{bmatrix} b_1 & b_2 & b_3 \end{bmatrix}$, ${}^t\mathbf{c} = \begin{bmatrix} c_1 & c_2 & c_3 \end{bmatrix}$ とする.

(1) 空間ベクトル \mathbf{a} と \mathbf{b} と $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ が張る平行六面体の体積を求めよう.

(2) 空間ベクトル \mathbf{a} と \mathbf{b} と \mathbf{c} が張る平行六面体の体積を求めよう.

(3) 空間ベクトルの内積 $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot \mathbf{c}$ を計算しよう.

(4) 3 次正方行列 $A = \begin{bmatrix} \mathbf{a} & \mathbf{b} & \mathbf{c} \end{bmatrix}$ の行列式を計算しよう.

3.4 四面体の体積とか表面積を計算したい